



プロレスラー
神取 忍さん
Kandori Shinobu
1964年横浜市生まれ。中学3年の時に柔道を始め、83年から全日本選抜柔道体重別選手権大会(66kg級)3連覇、84年世界柔道選手権大会3位、福岡国際女子柔道選手権大会では83年2位、85年3位などの成績を収める。86年、プロレスラーへ転向。ジャパン女子プロレスに入団し、「四天王」の一角として団体の看板レスラーに。92年、LLPW(LADYS LEGENDARY PRO WRESTLING)の旗揚げに参加。現在はLLPW-X代表取締役社長兼現役女子プロレスラーとして活躍中。

「ミスター女子プロレス」の愛称で親しまれているプロレスラーの神取忍さん。「心が折れる」という言葉の生みの親でもある神取さんは、還暦を迎えてもリングに立ち続けるまさに女子プロレス界の「レジェンド」だ。パワー溢れる飾らない人柄、お話を伺ううちにすっかり惚れてしまった!

長い物には巻かれない性分なので。全国大会や国際大会に出られるまでになりましたが、当時女子柔道はオリンピックでも公開競技で。自分の中で柔道には区切りをつけ、スポーツジムのインストラクターになるつもりでした。友人からは「女子プロに行け」と勧められましたが、全く興味はありませんでした。

闘う姿勢を見せる

ところがある日突然、ジャパン女子プロレスから連絡がありました。友人が私に隠れて履歴書を送っていたんです。まあ暇だし、話だけ聞いてみようかなと。それがプロレスとの出会いです。プロレスラーへの転向を勧めるジャパン女子プロレスの社長は「柔道で食べていけるのか」と。「じゃあ、3年だけやろうかな」という気持ちになって。まだ私は20歳そこそこ。今思えば完全になめていました。それが還暦まで続けることになるのだから、人生、本当にわからない。

始まりはそんなふうでしたが、プロレスの世界に飛び込んで、その魅力に気づきました。やられても起き上がる、負けても這い上がる。勝つか負けるかだけではない、闘う姿勢を見せる。「元気になりました」「気持ちを強く持てるようになりました」というお客さんの声やりがいとなっていきました。勝てばいい、強ければいいだけではない、お客さんをどう納得させるか、どう楽しんでもらうか。プロレスはお客さんも一緒に闘っているのだから。

心が折れても切り替える

デビュー後間もなく、ある大事な一戦に、対戦相手の「心を折るんだ」と臨みました。骨は折れないから、心を折る。柔道をやっている負けるってことは心が折れることだと知っていたから。「もう逆りません」と屈服

させる、そんな意気込みでした。それが今は「心が折れる」という表現で使われるようになったんですね。私も心が折れることはありません。でも骨でも心でも修復はできる。全てを飲み込んで開き直って切り替える。人生、その連続。「忍」って、「刃」に「心」。名前の通り心で勝負していくんです。

今年18日の還暦記念大会には、還暦だってまだまだ頑張れる、誰も可能性があるんだというメッセージを持って臨みたい。挑戦ですよ。挑戦していかないと人間は前に進めないから。

挨拶、食事、そして笑顔

若い後輩にまず教えるのは挨拶。挨拶という人間としての基本ができれば、どこでだって通用しますから。あとは、食べ物。トレーニングも大切だけど、食べ物は大切だよ。私はジャンクフードが嫌い。お米が大好きで、今、米作りの修業中です。農業は全くの素人だから、土壌について勉強したり、草刈りをしたり、基本から。いつかブランド米として「神取米」を作りたい。

笑顔も大切。20代後半で風間ルミさん(故人)と今の会社の前身を設立した時、スポンサーもなかなか見つからず、しかめっ面をしていたんでしょうね。そんな私に、ある人が「とにかく笑顔でなんでも吹っ飛ばしたらいい」と。そっか、笑顔なんだとその言葉がすごくしみて。表情で人生も変わる。嘘でもいいから口角を上げていると、脳は「本当に笑っている」と思うそうですよ。

横浜って、やっぱりいいよね

生まれは鶴見区です。小学校に上がる前に中区の麦田町に引っ越しました。中華街に近く、お客さんが来て食事に行くのは決まって中華街。母が中華街の人と仲が良かったのか、おやつにはよく月餅をいただきましたよ。小学校の高学年で磯子区の岡村に越しました。近所に「三角ポテ」と呼ばれている揚げ物屋さんがあってよく行ったなあ。中学は「ゆず」の北川くんと同じ岡村中学校でした。彼のお姉さんは私の2学年後輩。ゆずのコンサート会場でたまたま顔をあわせますよ。

みなとみらいはまだなく、桜木町も今みたいに栄えてなくて。ロケ地になったと聞いて、草むらの中にあるような赤レンガ倉庫を友達と見に行ったこともありましたね。横浜って、やっぱりいいよね。なんだろう、海が

あって港があって、おおらかさがある。それと、横浜の人って揺るぎない自信を持っているように感じます。今でも父の月命日には横浜に帰り、手を合わせています。

柔道にのめり込む

中学3年になって内申書が気になりだしたころ。特技の欄に何か書きたくて、柔道をやろうと思い立ちました。「～道」と書けるとかっこいいじゃないですか。黄金町に父の知り合いの町道場があって、そこに通いました。ところが小学生に投げ飛ばされてしまう。悔しくて勝たたくてのめり込んでいき、高校に入っても続けました。

勝つためにはどうすればいいのかを考えてるのが好きで知恵を絞ったものです。その後、実業団や大学から声もかかりましたが、組織ではなく町道場で自由にやりたかった。

神取忍還暦記念イベント
「神取忍還暦祭り〜人生もう1度、これから真向勝負」
日時/11月18日(月)19時開始
会場/東京ドームシティホール
問合せ/☎0570(00)3337
サンライズプロモーション東京
(平日12時~15時)
詳細・チケット購入はこちら▶

街全体が共用部分 駅直結でより便利に、よりアクティブに
グランクレール 綱島
「首都圏初」駅直結
スーパー・書店・クリニックなどに直結&隣接
24時間スタッフ常駐、日勤看護師※
介護住宅への住替え可能※
東急不動産ホールディングスグループが手がけるシニア向け住宅

私らしくを、いつまでも。
完全予約制/無料
見学会ご予約受付中

ランチ付き見学会
11月12日(火)、17日(日)、26日(火)
シブおすすめの特別ランチデー
11月19日(火)
各日11時~ 各日3組様限定

セミナー付き見学会
今は元気だけ一人暮らしが不安な方へ「安全と安心の高齢者の住まい」
11月22日(金) 13時~
定員25名
講師 神奈川ロイヤル株式会社 そごう横浜店 サービス付き高齢者向け住宅募集センター センター長 星野千鶴

お問い合わせ
【グランクレール綱島 入居相談サロン】 ☎0120-109-274
営業時間/9:00~17:00(水曜定休)
グランクレール綱島